



学校だより

2月号

第423号

教育目標：自分がすき 友だちがすき まちがすき 進んで学ぶ 山田の子

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yamata/>

食育 ～給食週間にちなんで～

校長 金森 孝子

山田小学校では、1月17日～21日に給食週間を設定し、学校給食について詳しく知ったり、調理員さん栄養士さんへの感謝について考えたりする取組をしました。給食委員会の5・6年生が、栄養士さん、調理員さんへのインタビューを行ったり、日本の給食の始まりやその変遷についての動画を作成したりしてお昼の時間に放送を流し、給食について楽しく学べる時間を工夫しました。

「食育」という言葉は、比較的新しい言葉で、「生きる上での基本」「知育、徳育、体育の基礎」として、「食育基本法」の中で位置づけられたのは、平成17年のことです。その中で、子どもたちに対する食育は、「心身の成長及び人格の形成に大きな影響を及ぼし、生涯にわたって健全な心と身体を培い豊かな人間性を育ていく基礎となるべきもの」と定められています。学校では、「食」に対する正しい知識を身に付け、食生活について考え、望ましい食生活を実践することを目指し、給食の時間だけでなく、各教科、総合的な学習の時間、特別活動等を通して、「食」に関する指導を行っています。食の指導というと、かつての「給食を残さず食べる」指導(?)と結び付けて考えがちですが、それは違います。人は多様です。食べる量も食べられない食材も、好みの違いもあります。自分の特徴を分かった上での望ましい食生活の実践です。学校では、一人ひとりに応じた食育として、ご家庭との連携が欠かせません。

また、学校の食育は、地場産物を給食で活用することを、とても重要視しています。給食便りでもお知らせしたように、創立50周年記念給食として、東山田の原木浩国さん、吉田稔さん、折本の城田朝成さんにご協力いただき、都筑区でとれた野菜を使った給食を実施することができました。食育においても、地域の方々に支えられていますね。



東山田 原木浩国さん

令和4年1月27日 ～Congratulations on the 50th anniversary!～

創立50周年式典は2月25日(金)に延期となりましたが、令和4年1月27日は、山田小学校の50回目のお誕生日でした。登校時、「今日の創立記念日、とっても楽しみ!」と弾んだ声を聴き、子どもにとっても特別な日と分かり嬉しくなりました。その日は全校で一斉に2時間目に時間をとり、テレビ放送で映像を観ながら開校当時について話を聞いたり、記念資料集・リーフレット・クリアファイルを受け取ったりして、お祝いの気持ちを味わい共有しました。

創立記念日にあたる「1月27日」は、昭和45年1月27日に、山田小学校の校舎建設の地鎮祭が行われたことを記念して決定されたそうです。実際には、その約三か月後の4月「横浜市立中川小学校東山田分校」として開設し、また、その一年後の昭和46年4月に「横浜市立山田小学校」として独立開校しました。創立1周年は、開校初年度昭和47年1月27日に行われ、それから約半世紀後の今日、50周年を迎えることとなったのです。その間、社会も環境も大きく変化しました。

子どもたちから、時折、ご家族やご親族、知っている大人の方が卒業生だった話や小学生だったころの話を聞くことがあります。話しているときの笑顔とその誇らしい様子に、子どもたちの地域への思いと深い愛着を感じます。これからも大切に育てていきたい心情ですね。



昭和45年1月27日 校舎建設地鎮祭

